

事業計画・収支予算書

〔公益財団法人浜松市花みどり振興財団
平成 29 年度〕

平成 29 年度 公益財団法人浜松市花みどり振興財団 事業計画

1 運営の基本方針

公益財団法人浜松市花みどり振興財団は、はままつフラワーパークの管理運営を通して、来園者に圧倒的な美しさによる「感動」と「安らぎ」を与えるとともに、「花と緑のまち・浜松」の象徴的施設として、魅力あふれる空間づくりを進めてまいります。

平成 29 年度は 5 ヶ年に亘る第 2 期指定管理期間の 2 年目の年度であり、これまで培ってきた集客実績と管理技術を礎に、多様な利用者ニーズに的確に対応した事業展開を図り、より一層の賑わいを演出してまいります。

また、毎年当園を核として開催する「浜名湖花フェスタ」においては、期間中の目玉展示である 1,300 本の桜と 50 万球のチューリップの競演「世界一美しい桜とチューリップの庭園」の充実はもとより、ゴールデンウィークに見頃となり、今、国際的にも最も旬な花の一つであるフジの美しさを一層高めてまいります。

このように、「さらに美しく、成長し続ける園」を具現化し、浜名湖地域の一層の振興を図ることで、東京オリンピック・パラリンピック開催年であり、開園 50 周年である 2020 年に向け、はままつフラワーパークを世界に発信し、次代を見据えた魅力あふれる園づくりに取り組んでまいります。

また、中京圏旅行会社の主要拠点等への誘客セールスや団体客向けツアーの設定等、集客対策・PR 戦略を強化するとともに、外国人観光客の誘客・PR 事業である「インバウンド事業」にも積極的に取り組み、新たな顧客の開拓を進めます。

併せて、当財団の設立目的である花みどりの普及や情操教育の場の提供として学生等研修生の職場体験受入や学校への出張講座等の教育振興事業、及び園芸福祉（公園福祉）事業を積極的に実施することにより、心身の健全な発達に寄与する活動も推進いたします。

今後も花とみどりに満ちた快適な市民生活の実現のために、「高度な園芸技術」「施設機能や特性に精通」「観光関係者との信頼関係」などの当財団の持つ強みを活かしつつ、平成 29 年度より「浜松市緑化推進センター（みどり～な）」指定管理業務の園芸講座の一部を浜松公園緑地協会と共同運営するなど、新規の園芸文化普及事業にも積極的に取り組み、地域の信頼と期待に応え得る円滑な法人運営に努めてまいります。

2 事業内容

【公益目的事業】

「花き類の栽培展示、栽培技術指導及び優良種苗の生産配布による園芸文化の普及と情操教育の推進に関する事業」

- (1) 花き類の栽培技術の指導、花の優良種苗の生産及び配布業務
　　< 当地の自然環境や栽培要件に適合した種苗の生産及び配布 >
 - ア キク及びフリージアの新品種の導入、試作、展示並びに優良品種の選定
 - イ キクのオリジナル品種の育成及び配布
 - ウ 浜松 PC ガーベラ部会より依頼された実生苗の生産・育成
 - エ ラン生産者組合との協力連携によるランの育成及び配布

- (2) 園芸文化の普及、情操教育の推進業務
　　< 生活の質の向上や生きがいづくりとしての生涯学習活動の推進 >
 - ア 市民からの日常的な園芸相談の実施
 - イ 「塚本こなみ園芸教室」はじめ各種園芸教室の開催
 - ウ 教育関係者及び児童生徒等研修生の職場体験の受入
 - エ 小中学校の総合学習との連携及び学校出張講座等「花育」の推進
 - オ 園内ガイド、園芸作業ボランティアの積極的な受入
 - カ 「車椅子押し隊」など学生ボランティアの参加受入により健全な青少年の育成を行う「心根（こころね）」教育の推進
 - キ 蛍の夕べや各種教室開催による教育文化事業の普及と情操教育の涵養推進
 - ク 市教育委員会と連携した「適応指導教室」の開催
 - ケ 市青少年健全育成センターが行う青少年支援体験活動事業の受入
　　（立ち直りのきっかけが掴めない青少年を受け入れ、体験活動を実施）
 - コ 「健康増進パーク」として市民の健康づくりを实践する事業の実施

- (3) 花みどりを基軸とした地域経済・産業の活性化関連業務
　　< 市民福祉の増進と浜名湖周辺地域の振興 >
 - ア 障がいのある人や高齢者、社会参画が困難な方々への園芸作業を通じた園芸福祉事業の実施
 - イ 観光圏振興の取り組みとして、民間主導の実行委員会形式による「浜名湖花フェスタ」への参画と館山寺温泉観光協会等関係団体との協力連携
 - ウ 周辺観光関連事業者や地域観光施設と連携した誘客活動の推進
 - エ 各種市民緑花ふれあい事業への参画
 - オ ニューツーリズム事業としての着地型観光商品造成への積極的参画

- カ 館山寺温泉観光協会と連携したガイド付き蛍ツアー「蛍の見られる温泉街」等の実施
- キ フラダンスの聖地としてイベントの定期開催をはじめ、花みどりと文化芸術事業の連携と市民交流人口の拡大
- ク 東南アジア諸国などを中心としたインバウンド事業での誘客促進の強化
- ケ 障がい者を夜桜に無料招待する事業「ドリームイブニング（H29.4.10）」の実施等市民福祉サービスの充実
- コ 「浜松市緑化推進センター」指定管理事業における浜松公園緑地協会との一部共同運営を通じた花みどり文化の効果的発信と入園者増加の相乗効果の創出

(4) 花き類の栽培展示業務

＜3,000種の草花の育成管理による自然環境とのふれあいの場の提供＞

- ア メインエントランス広場及びクリスタルパレス周辺のコンテナ花壇装飾
- イ 早咲きの桜園（館山寺桜、雛桜、雛八丈桜）の充実
- ウ 花梅園の修景及び早春ボタン展示の充実
- エ 早咲き菜の花と7万球のラップズイセン及び早咲きチューリップの展示
- オ 桜とチューリップ展示（50万球）の効果的な展示手法の検討
- カ フジ棚の増設と「虹のフジのトンネル」の充実
- キ 西洋シャクナゲ、ヘメロカリスの植栽展示等、多彩な「花のリレー」の展開
- ク 熱帯スイレンの展示
- ケ ヒガンバナ類の展示
- コ アメジストセージをメインにした秋花壇の充実
- サ 百種接分菊、トーテムポール菊の栽培展示
- シ モザイカルチャー作品（「ほほえみのハーモニー」等）の装飾とその維持管理
- ス ウェルカムガーデン、スマイルガーデン等の花壇展示による癒し空間の創出
- セ 熱帯植物（サボテン類、珍しい草花類）及び球根ベゴニアの育成管理
- ソ 国内植物園で初めて開花させたヨルダン国花「ブラックアイリス」の育成管理
- タ ブラジル国花イペの追加植栽等桜の後も絶え間なく花の見頃が続く園の実現

(5) 観賞、散策及び研修用の施設の運営管理業務

＜誰もが安心して利用できる快適な癒しの空間の提供＞

- ア 夜間開園の魅力度アップ（夜桜、蛍の夕べ、クリスマスイルミネーション等）
- イ 園内移動車両3編成（56人乗り車椅子2台収容可/57人乗り車椅子2台収容可/53人乗り車椅子2台収容可）稼働による入園者サービスや利便性の向上
- ウ 作業研修、体験学習の場となる育苗・栽培圃場の肥培管理と施設維持
- エ 大温室クリスタルパレスの管理運営及び温室内ガーデンシアターでの企画展の開催
- オ 「花みどり館」での体験学習機能の強化・充実

- カ 芝の常緑化と美しい庭園空間の創出
- キ 展示植物への樹名板設置(既存ラベルの改善)と管理担当者表示等「見える化」事業推進
- ク マスコットキャラクター「ふらまる」を活用した広報活動の推進と新たな顧客層の開拓

(6) 館山寺総合公園の指定管理業務

＜浜松市における園芸・教育文化の象徴的施設としての効率的な管理運営の推進＞

- ア 花の図書館「はままつフラワーパーク」と隣接する「浜松市動物園」が連携した、「館山寺総合公園」の適正かつ効率的な管理運営
- イ 動物園と連携したイベントの開催と誘客増の取り組み
(クワガタの育て方教室、国蝶オオムラサキ観察会の開催等)
- ウ 開園 50 周年を見据え、市と連携してのソフト・ハード両面に亘る計画的な整備の推進

(7) 「浜名湖花フェスタ」の定着化

- ア 「浜名湖花フェスタ」の充実と花みどり文化の一大発信拠点としての園の定着化
- イ 2017 年 NHK 大河ドラマ「おんな城主直虎」放映による直虎ゆかりの施設との連携強化と誘客プロジェクトへの参画

【収益目的事業】

「売店・レストラン・遊具・自動販売機売上等に関する事業」

(1) 園内の売店・レストラン(カフェ含む)・遊具・自動販売機の活用による入園者の利便性の向上及び販売等に関する業務

＜快適な便益施設及び更に魅力的なアメニティゾーンの形成＞

- ア 直営ショップ、レストランでのクレジットカード決済機能導入(H28.3～)による利便性の向上と売上の強化
- イ 斬新な創作メニューの提供及びオリジナル名物メニューの開発・充実
(導入例:クレミアソフト、野菜カレー、地元産しらすを用いた遠州双子丼、牡蠣カバ丼等)
- ウ 直虎ブームを好機と捉え、直虎関連グッズ、スイーツ等を取り揃えたコーナーをショップの一角に設置。来場者の購買意欲を掻き立て、売上増に貢献する取り組みの強化
- エ こども広場を中心とした安全で快適なアメニティゾーンの形成

3 業務の合理化など経営健全化への取り組み

(1) 人件費の抑制

嘱託職員の採用や退職職員の再雇用を行うほか、弾力的な人員配置や臨時雇用を行うことで、人件費の抑制に努めます。

区 分	本年度	前年度	増減
職 員 数	28 人	27 人	1 人
人 件 費	159,610 千円	153,803 千円	5,807 千円

(2) CS（顧客満足）を意識した愛される園づくりの推進

施設やサービスなど多様な満足度の指標を設定し、部門別に評点化することで、従来の運営方法から一歩進めたCS（顧客満足）を展開するとともに、5S委員会での取り組み等により顧客満足度の的確な把握とお客様の声を運営に反映させ、入園者の増を図ります。

具体的な取り組みとして、

ア アンケートやメール・電話等を通じて市民から寄せられた意見等を集約し、改善すべき事項をマニュアル化することで、改善に結びつけます。

イ アンケートで毎月数値化される「顧客満足度」の向上を図ります。

（平成 29 年度目標満足度値 4.6 点 平成 23～27 年度平均値 4.5 点/5 点満点）

1 平成29年度 公益財団法人浜松市花みどり振興財団 収支予算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
ア 基本財産運用益	12	12	0
イ 事業収益	448,628	392,155	56,473
入園料収益	190,863	167,511	23,352
レストラン売上収益	59,908	46,929	12,979
売店売上収益	108,557	95,972	12,585
駐車場使用料収益	49,000	47,188	1,812
園内移動車両使用料収益	11,350	10,276	1,074
施設使用料収益	17,050	13,596	3,454
その他使用料収益	7,750	7,033	717
受取雑収入	4,150	3,650	500
ウ 受取指定管理料	111,000	111,000	0
エ 受取利息	25	25	0
経常収益計	559,665	503,192	56,473
(2) 経常費用			
ア 事業費	513,559	491,120	22,439
報酬	5,750	5,750	0
給料	77,439	73,517	3,922
職員手当	31,503	30,582	921
法定福利費	16,342	15,615	727
退職給付費用	0	0	0
賃金	100,500	100,500	0
旅費交通費	400	400	0
報償費	12,338	15,388	△ 3,050
燃料費	9,000	10,000	△ 1,000
光熱水費	23,348	23,700	△ 352
備用品費	15,395	15,745	△ 350
印刷製本費	1,842	1,842	0
通信運搬費	1,130	1,130	0
広告宣伝費	12,030	4,030	8,000

科 目	予算額	前年度予算額	増減
手数料	9,090	7,270	1,820
交際費	30	30	0
会議費	700	120	580
厚生福利費	121	121	0
負担金	460	195	265
被服費	250	250	0
賃借料	2,350	1,722	628
雑費	30	30	0
委託費	33,830	31,650	2,180
修繕費	10,305	10,105	200
保険料	1,241	1,241	0
原材料費	4,314	3,513	801
肥料農薬費	4,224	4,461	△ 237
種苗費	40,045	39,815	230
園内装飾資材費	3,000	3,000	0
売店材料費	70,535	58,454	12,081
食材費	23,964	20,891	3,073
大型イベント費	0	8,000	△ 8,000
棚卸減耗費	100	100	0
減価償却費	1,953	1,953	0
イ 管理費	46,106	46,033	73
報酬	5,750	5,750	0
給料	13,148	13,004	144
職員手当	5,230	5,168	62
退職給付費用	0	0	0
法定福利費	4,448	4,417	31
備用品費	30	30	0
通信運搬費	120	120	0
手数料	150	150	0
厚生福利費	140	140	0
負担金	400	400	0
委託費	1,890	2,554	△ 664
公課費	300	300	0
消費税	14,500	14,000	500
減価償却費	0	0	0
経常費用計	559,665	537,153	22,512
当期経常増減額	0	△ 33,961	33,961

科 目	予算額	前年度予算額	増減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 33,961	33,961
一般正味財産期首残高	255,162	234,755	20,407
一般正味財産期末残高	255,162	200,794	54,368
II 指定正味財産増減の部			
1 (1) 受取補助金等			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	55,000	0
指定正味財産期末残高	55,000	55,000	0
III 正味財産期末残高	310,162	255,794	54,368

※収支予算書は「公益法人会計基準の運用指針」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)に示された様式に準じて作成している。

収支予算書内訳表

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	合 計	公益目的会計	収益事業会計	法人会計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
ア 基本財産運用益	12	12	0	0
イ 事業収益	448,628	258,013	190,615	0
ウ 受取指定管理料	111,000	78,974	0	32,026
エ 受取利息	25	25	0	0
経常収益計	559,665	337,024	190,615	32,026
(2) 経常費用				
ア 事業費	513,559	365,342	148,217	0
イ 管理費	46,106	9,880	4,200	32,026
経常費用計	559,665	375,222	152,417	32,026
当期経常増減額	0	△ 38,198	38,198	0
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	14,473	△ 14,473	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 23,725	23,725	0
一般正味財産期首残高	255,162	156,565	98,597	0
当期市建設負担金	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	255,162	132,840	122,322	0
II 指定正味財産増減の部				
1 (1) 受取補助金等				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	55,000	0	0
指定正味財産期末残高	55,000	55,000	0	0
III 正味財産期末残高	310,162	187,840	122,322	0

【資金調達及び設備投資の見込みについて】

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

■資金調達の見込みについて

当期中における借り入れの予定はありません。

■設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除去または売却を含む。)の予定はありません。